

常盤の翠

志・寛・錬

発行

平成30年7月20日

鹿児島市立伊敷中学校

「自分が善いと思うことをする」 それが美しい

校長 寺園 伸二

ワールドカップ・ロシア大会での日本代表の活躍は皆に強い印象を残しました。勝負の厳しさ、決断の苦しさ、信頼の力、チームワークの大切さ、サッカーという競技を超えて、多くのことを学ばせてもらったのは、私だけではないはず。さらに、ピッチの外でも、日本代表の選手たちや日本のサポーターが、世界から賞賛されたことも、うれしい限りでした。

今大会最後の試合となったポーランド戦の直後、美しく整備された日本代表チームの控え室がネット上で世界中の人々の知るところとなり、話題になりました。「来たときよりも美しく」という言葉は、日本人に馴染みのある言葉ですが、ポーランド戦の悔しい逆転負けの試合直後に、それを実行した日本代表の精神的な強さに世界は驚いたのだと思います。このいかにも日本人らしい清々しい態度が、文化の異なる世界中の人々に受け入れられ、評価されたことに大きな意味を感じます。「来たときよりも美しく」は世界基準になり得ると言うことを日本代表チームは証明してくれました。

もうひとつの話題は、日本のサポーターが試合後に行った清掃活動。多くの国のサポーターが同様に清掃活動を行うようになるなど、日本が大切にしていた文化が、世界の共感を得られる素晴らしい文化であることが証明された出来事だと思えます。国は違っても、文化が異なっても「世界は分かり合える」と思えたことに大きな意味を感じることができたワールドカップでした。

世界の学校を調べてみると、時間割に「作業」の時間がない国がほとんどです。「作業」

時間には、清掃作業員の大人が学校に来て「作業」を行う国が多いのですが、では、なぜ日本は生徒が清掃作業を毎日行うのでしょうか。ある外国人が、日本に来て道路にゴミが落ちていないことに驚き、その理由を研究した結果、日本人は学校教育の中で、毎日清掃活動を行うことで、自分たちが使った物、お世話になつて居る場所をきれいにすることが当たり前という教育を小さい頃から受けているからという結論に達したと述べていました。そういうえば、野球のイチロー選手がグローブやバットなど、道具を大切にしていることは有名です。日本人には、人だけでなく、お世話になつた道具や施設・空間にさえも感謝し、大切に扱う心が脈々と受け継がれているのかもしれない。

さて伊敷中学校は「気付き作業」を行っています。「誰の仕事でもない仕事」がなされている職場はいい職場であるという言葉があります。誰かに言われたからではなく、それが善いことだと思つて行う行為は美しいのです。規則でも損得でもない「自分が善いと思つたから行った」これが世界中から賞賛された最も重要な点です。ですから伊敷中の皆さん。規則だからとか、自分が得するからとかではなく自分かではなく自分が善いと思うことを行いましょう。それが美しいのです。

世界の学校を調べてみると、時間割に「作業」の時間がない国がほとんどです。「作業」



絆を深めて 音楽コンクール

7月10日（火）、宝山ホールで音楽コンクールが行われました。校長先生も講師で「涙が出た」とおっしゃっていました。それぞれの学年の豊かな個性が響き合つて、「〇組らしさ」が表われる心地よい合唱になっていて、皆さん自身もよく歌つていて、聴いていて、皆さん自身もよく音楽に親しむこととお互いを大切に、これからの取り組みを大切にして、一体感を築き上げていきたいと思います。

♪ 最優秀賞	1年5組	自由曲 「TRUST!
	2年6組	自由曲 「ひろい世界へ」
	3年2組	自由曲 「かえられないもの」
♪ 優秀賞	1年3組	自由曲 「行き先」
	2年2組	自由曲 「COSMOS」
	3年3組	自由曲 「輝くために」
♪ 優秀伴奏者賞	1年3組	江田 莉子
	2年1組	大平 愛莉
	2年6組	脇園 彩加
	3年3組	戸木 田結
♪ 優秀指揮者賞	1年1組	石原 理々子
	2年2組	砂原 大輝
	2年6組	神守 正義
	3年5組	井手 瑋彩
	3年6組	上入 空温



情報モラルを身に付けて

その怖さはある程度知ってはいる。だけど……「このくらいなら……」「めつたにないから……」インターネット（特にSNS）に関するトラブルは、軽い気持ちから生じてくるようです。そんな気持ちを引き締め、正しく適切に使えるようにしてほしいものです。

14日の情報モラル講演会では、ネット依存や利用時間の長さについての話もなされました。伊敷中・玉江小・草牟田小では「ネットスリープタイム宣言」として夜9時～朝8時～の利用を控えるようになっていきます。みんなで言う、その意味を考えてみましょう。

8・9月の主な行事予定

- 8月 1日 出校日
- 8月 21日 出校日
- 9月 3日 始業式
- 9月 4日 1・2年実力テスト（～4日）
- 9月 6日 3年第1回共通実力テスト
- 9月 6日 教育実習開始（～28日）
- 9月 12日 生徒会立会演説会
- 9月 12日 役員選挙
- 9月 19日 食に感謝する日
- 9月 19日 体育大会予行
- 9月 23日 第72回体育大会
- 9月 25日 体育大会振替休日

地域に生きる「人」として

14日には、資源回収が行われました。今年度から年に二回の取り組みとなりました。それだけに、回収する量も多かったと思いましたが、三年生を中心に、スムーズな活動ができていたようです。

この活動は、昨年度約二十五万円の収益を上げています。そのお金は、例えば部活動の道具代や遠征費補助として使われています。資源を出してくださる地域の方々、引き取ってくださる業者の方々、運営をしてくださるPTAの方々、様々な御協力を改めて感謝し、皆さんを見つめる地域の温かさを感じてほしいところです。

さて、皆さんは日常、そんな温かい地域に対して、どんな関わり方をしているのでしょうか。どんな貢献ができるのでしょうか。

先日、学校にいられた地域の方が「車に乗って、会釈をしてくださいました。一日中、清々しい気分になりました。」という話をしてくださりました。

夏休みは家庭や地域で過ごす時間が多く生まれます。地域の方に大きな声であいさつをしたり、落ちていたゴミを拾ったり、落ちていた操で幼少学生の手本となつたり、交通マナーを正しく守つたり……当たり前のことも、もしかしたらありませんが、ほんの少しでも地域にいい影響を与えようとする皆さんであってほしいと思います。

三大伝統の精神がいつでも、どこでも生かされることを期待します。





栄光の記録

○鹿児島県下春季中学校弓道大会

男子個人第2位 3年4組 宮原 栄翼

○鹿児島県中学校春季学年別水泳大会

2年女子1000M平泳ぎ 第1位
 2000M平泳ぎ 第1位
 2000M個人メドレー第1位
 2年2組 榎田 礼花
 2年男子1000M平泳ぎ 第2位
 2000M平泳ぎ 第1位
 2年3組 新福 大地

○第10回BMGオープンシングルス大会(バドミントン)

男子開闢Bパート 優勝
3年4組 重久 誉

○第32回鹿児島県ジュニアバドミントン大会

男子シングルス(ジュニアの部) 優勝
 3年3組 牛込 武斗
 女子シングルス(ジュニアの部) 第3位
 3年4組 橋野 光

○第45回鹿児島市中学校春季バレーボール大会

第3位 男子バレーボール部

○第1回ゼビオカップ

第3位 サッカー部

○南日本小・中学校陸上競技大会

男子共通棒高跳び 第1位
 3年5組 坂元 悠真
 女子共通1500M 第4位
 3年2組 宇都ひなた

○全日本中学校通信陸上競技大会鹿児島県大会

女子共通1500M 第8位
 3年2組 宇都ひなた
 男子1年1500M 第7位
 1年2組 宮内 大輔
 男子共通棒高跳び 第3位
 3年5組 坂元 悠真

○平成30年度歯と口の健康週間「図画ポスター作品展」

銀賞 2年3組 馬渡 海月
 銅賞 3年6組 富永さくら

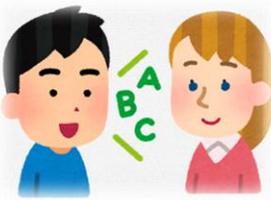
○平成30年度いじめ啓発強調月間作品コンクール

優秀賞 2年3組 馬渡 海月

○平成30年度第5回中学生海の絵画コンクール

佳作 2年4組 福岡 素希

○校内英語暗唱コンクール



1年生の部
 自己紹介 最優秀賞 1年3組 庵 璃子
 優秀賞 1年3組 向井 乃子
 スキット 最優秀賞 1年5組 牟禮こころ
 1年1組 喜禎 笙
 2年生の部
 最優秀賞 1年3組 東 遼太郎
 優秀賞 救仁郷 旭
 3年生の部
 最優秀賞 橋口 岳仁
 優秀賞 2年1組 亀田 周杜
 2年6組 平原 美春

○全日本少年少女武道錬成大会(弓道)

優良賞・技能優秀賞・努力賞
 3年1組 梅原 里緒
 3年5組 本村 美樹
 3年6組 内村千結樹
 努力賞
 3年1組 竹之内勇汰
 3年1組 上久保龍芽
 3年4組 宮原 栄翼



7月21日 陸上部 (鴨池陸上競技場)

23日 卓球部 (サンアリーナせんだい)

24日 バドミントン部 (桜島総合体育館)

24日 テニス部 (知覧のテニスの森公園)

24日 野球部 (薩摩川内野球場)

24日 水泳部 (鴨池公園水泳プール)

弓道部 (県武道館弓道場)

男子バレーボール部 (いちき串木野市総合体育館)

ソフトボール部 (日置市東市来総合運動公園)

柔道部 (鹿児島アリーナ)

25日 ハンドボール部 (吉田文化体育センター)

男子バスケットボール部 (サンアリーナせんだい)

※ 初日のみ掲載

吹奏楽部
7月22日 夏の祭典 (宝山ホール)
27日 吹奏楽コンクール(市民文化ホール)

7月24日 第63回中生連弁論大会(中央公民館)

代表弁士 脇岡 李花